

稲垣昭義委員

最後に知事にお尋ねをします。これまで3つの団体について議論をさせていただきました。ほかにも経営健全化の指摘を受けている外郭団体はたくさんある中で、今後も県の財政支援が必要になることは十分考えられると思います。また、17年度から指定管理者制度が導入されますと、公共の施設を今度は民間が管理委託受けるという場合が出てきますが、その民間が破綻した場合は、公共性の観点から県は財政支援を行うのかなど、様々な場合が想定されます。今回この機会に、県が財政支援をする基準を明確に定める必要があると考えますがいかがでしょうか。

野呂知事

大変いい御議論をいただいたと思って先程からお聞きしてありました。田川県政のときから、先送りされてきたものなどがある中で、後にそういうことを残していかないように対応したいと思います。まずは外郭団体が行っている事業について、事業存続の有無、必要性、事業手法について見直していくことが大事だと思います。

県の財政支援については、必要最小限にするというこ

とが大事だと考えていますが、より具体的な基準が必要かどうかについては、それぞれの団体の存在理由とか使命、役割、また、実に様々な利権が既得権益として絡んでいて、中々、一律の対応はできません。今後は、各団体の個々の状況に応じた適切な対応をしていくということが必要だと思っています。

稲垣昭義委員

公的関与の判断基準はありますけれども、経営が悪化した場合の公的支援の判断基準というものを、これを機会につくっていただきたいということを要望して、質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

公的支援のあり方については、17年度改めて議論することに!!

支持者まわり、質問作り、諸会合参加...何もかもが初めてで、充実の経験でした!思い切ってインターンをしてよかった!稲垣議員、本当にありがとうございました! (^_^)v



学生インターン生募集!!

昨年は、3名の学生がインターンに来ていましたが、本年は1名、静岡大学の学生廣田君が2月~3月の春休み期間中、インターンに来ていました。HPに廣田君の活動日記が掲載されていますので、是非ご覧下さい。

<http://blog.livedoor.jp/dream211/>

「若い世代が政治に関心を持ってもらいたい」「政治を変えるには若者が世代責任を果たし立ち上る必要がある」との思いから、学生インターン生を随時受け付けています。「政治家になりたい」という高い志を持った方大歓迎です。

インターンに興味のある方は事務所までお問い合わせ下さい。

平成16年収支報告

平成16年「いながき昭義後援会」の収支報告を選挙管理委員会に報告致しました。57口637,000円の個人献金を皆様方から頂き、「Dream21」を4回(毎回2万部)発行させていただき、各地区にて県政報告会、街頭演説を開催させていただくことができました。ご支援いただきました皆様方に心から御礼申し上げます。

17年度も引き続き会報の発行、県政報告会の開催等全力で行っていきたく思います。いながき昭義の政治活動は、皆様方の個人献金にお支えいただいております。勝手なお願いで恐縮ですが、可能な範囲でのご支援賜りますようお願い申し上げます。

収入の部	
個人献金(57口)	637,000
金 利	2
前年より繰越	521,902
合 計	¥1,158,904

支出の部	
会報作成費(4回発行)	525,000
県政報告会会場代	52,070
街頭演説道路使用許可代	18,400
郵 送 費	101,740
電 話 代	113,382
封 筒 代	12,600
その他事務費	119,633
翌年へ繰越	216,079
合 計	¥1,158,904

◆三重銀行 三重支店
口座番号 911077
名義 昭友会 代表者 稲垣昭義

◆郵便局
記号 12280 番号 26086671
名義 昭友会 代表者 稲垣昭義

※詳細な収支報告は、HPで公開しておりますので、是非ご覧下さい。
http://www.dream-21.jp/money_index3htm.htm

※事務所の家賃、光熱費等の事務所維持に係る費用は、稲垣昭義個人で負担しております。

Dream21 (ドリーム21)

第13号

発行：いながき昭義と明日の三重を考える会 Tel 0593-61-7873 Fax 0593-61-7876
《事務所》〒510-8012 四日市市茂福町9-27 URL <http://www.dream-21.jp>
《自宅》〒512-0904 四日市市東坂部町266-6

後援会事務連絡

三年目へ全力投球!!

日頃は、いながき昭義の政治活動をお支えいただき、後援会活動にご理解をいただき誠にありがとうございます。

2月7日には楠町との合併により中核市の要件が整う30万都市になり、新生四日市市が誕生いたしました。これまで、議会終了ごとに「Dream21」を発行させていただき、旧四日市市を中心に配布させていただいておりますが、今後は、新たに四日市に加わっていただきました旧楠町にも、配布させていただきたく思います。是非とも皆様方のご協力賜りますようお願い申し上げます。

いながき昭義は、第一回定例会にて平成17年度当初予算の総括質疑を3月9日に行い様々な提案をさせていただきました。平成17年度も県政発展のため全力で走らせていただきます。今後とも暖かいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

いながき昭義後援会会長
古市 祐治



いながき昭義県政報告会日程

第24回 6月5日(日)14時~15時
羽津地区市民センター

第25回 6月5日(日)19時~20時
富田地区市民センター

第26回 6月12日(日)14時~15時
下野地区市民センター

第27回 6月12日(日)19時~20時
常磐地区市民センター

稲垣昭義ホームページ
<http://www.dream-21.jp>



毎週更新しております!
是非ご覧下さい

最年少三重県議会議員
いながき昭義後援会会報

●○ 平成17年第一回定例会 報告 ○●

(会期:平成17年2月15日～3月23日)

予算決算特別委員会報告

《3/9予算委員会総括質疑に稲垣昭義登壇!!》

平成17年度中に差押え品のインターネットオークション導入検討へ!!

◆未収金対策について

稲垣昭義委員

未収金対策についてお伺いします。平成15年度の県税の未収額は約84億円。県税以外の未収額は約52億円で、合計約136億円と多額になっています。これらの対策として、平成16年度には三重地方税管理回収機構を市町村と共同して設立し、また、県庁内に特別徴収機動班を8名体制で設置し、一定の成果を上げていますと聞いています。更なる強化のため、平成17年度新たに、例えば東京都が実施して、マスコミ等でも話題になりましたインターネット上で差押え品のオークションを行うことを提案しますがいかがでしょうか。

8,000円/t、3万5,000円/tと言う段階までは大方了解を得たと感じます。(現在の料金は2万円/t)

処理量の方は、今後、企業が、県外へ出している廃棄物等につきまして、事業団で処理をするという営業努力をやっており、若干見込みが出てきたところです。また、現在、市町村が償却残渣を埋立地で処分している分については新たに事業団で処理するというのを協議しています。



予算委員会 稲垣昭義質問

稲垣昭義委員

五十鈴監査法人の経営評価書を見ますと、県からの無利子貸付金を注入された場合に、計画的に返済出来るかとの項目には、「この計画を策定した前提条件をクリアし、もう一段の経営努力をした場合には実現可能であるが、前提条件、特に収益面での実現可能性については、これに対し保証を与えるものでもないし、それに対する評価も行っていない」と書かれています。

この評価をもとに事業団が経営健全化計画書を作られました。これを見ると、先程の御答弁内容は、平成16年から18年までのこととして具体的に書かれています。19年以降の中期的な対応を読みますと、「企業系の産業廃棄物の発生量は社会状況に大きく左右されること、また、将来的にも発生量の増加の予測がつかないことから、安定した量の確保を維持していくことは困難である」と書かれています。

この評価書と、健全化計画書を見ると、今回提出いただいている資金繰表では、この20億円が返済困難になる可能性、あるいは追加的な支援が必要になる可能性が今後考えられると思いますが、御見解をお聞かせください。



栃木県
フレックスハイスクール

中尾総務局長

厳しい財政状況の中で、歳入を確保していくことの重要性はまさに議員御指摘のとおりだと思っています。御指摘の東京都の動きは、既に税務政策室にて勉強を始めています。今後、動産の差し押さえ状況をにらみながら、インターネット購買の環境を整えば、ぜひ検討していきたいと考えています。

◆経営が悪化した外郭団体等に対する公的支援のあり方について

稲垣昭義委員

次に、当初予算の中で、三重県環境保全事業団への20億円の無利子貸し付け、農林水産支援センターへの7,500万円の無利子貸し付け、食肉市場再編事業の約9,500万円に關係して、県の外郭団体や公的な事業を行う団体等が経営悪化した場合に、県が担う役割について質問をさせていただきます。

最初に環境保全事業団について、県民の税金を20億円貸し付けるということで、返済見込みが確実になければなりません。返済根拠が極めて不確かと感じますので、具体的に返済見込みをお示しください。

井藤環境森林部長

返済見込みは、まず料金の方は、段階的に上げていきたいという希望を持っています。各市町村については、2万

井藤環境森林部長

確かに評価なり、経営健全化計画ではそのように書いてありますが、まずは現状をきちっと分析したということで、この評価なり健全化計画を、私どもは評価しているところでして、先生の御所見にありますように、18年度までは大丈夫だと考えます。また、その後についてはまだまだ不確かだと考えます。ただ、現段階では、この計画に沿ったことをきちっとやらせ、県の方も機能を働かせて見守っていく。また、足りない部分は、県もある程度の人的な支援なりしながら、この計画が十分毎年毎年きちっと達成されるようにしていきたいと思っています。

稲垣昭義委員

あくまで計画ですから、計画に沿って、実現いただくように指導していくことは大事なことです。実現可能性が非常に低いものを頑張って努力することは、事業団の職員にとっては非常に気の毒な話です。今回の20億円については、「市町村のごみ行政」、「県民の利益」、「社会的な必要性」、等を考慮すると、緊急的な支援として認めざるを得ないと思いますが、県として、今後積極的ににかかわる部分を明確に示すことが大事だと思います。

井藤環境森林部長

議員の御指摘のとおり、例えば災害、不採算部門など公的関与が必要なものを今後、事業団に担ってもらうことも考えられます。現在、事務的には議論していますが、さらに検討し、議会にもお示し致します。

稲垣昭義委員

事業団の関係は最後にしますが、今回、議会への説明の仕方、2月8日、連合審査会が開かれましたが、そのときの提出書類は、A4二枚でした。たったこれだけの資料で、県民の税金20億円を事業団へ無利子で貸し出すことを審査しました。その後、我々新政みえの調査等で、評価書だとか、健全化計画書を具体的に出していただきました。普通、20億円のお金を貸すときには、最低限、返済根拠、資金繰り、返済見通しを揃えて提出をいただいき議論をすべきで、最低限の義務を怠っていると思いがいかですか。

井藤環境森林部長

大変申し訳ございません。不適切な部分がありました点はおわび申し上げます。

稲垣昭義委員

次に、農林水産支援センターに対する7,500万円の貸し付けについてお尋ねをします。環境保全事業団に比べると額が小さいので、あまり議論にはなっていませんが、返済見込みをお聞かせください。

石垣農水商工部長

16年度中に中期的な経営改善計画をつくらうと庁内で検討してきましたが、庁内合意に至らなかったため、もう一度17年度中に事業の効率化、組織体制、財政の健全化についてまとめていくということで、決して、貸しっ放しということはありません。



垂坂元三大師節分豆まき

稲垣昭義委員

今回緊急的な支援ということで、理解できますが、平成13年に、収益を生む部分を民業圧迫とのことで廃止したことが経営悪化につながっています。官と民の役割分担を明確にした団体については、堂々と公の担う部分への支援ができる体制をつくっていただきたいと考えます。

次に、食肉市場再編事業費についてお尋ねします。四日市畜産公社と松阪食肉公社は、ともに赤字体質で、累積赤字は、約8億円と言われています。平成13年には、三重県食肉流通再編統合の基本方向が定められ、平成20年までに統合する方向に向けて調整をされていると聞いています。

今回、再編対策事業費として9,500万円上がっていますが、内訳を見ますと、赤字経営を支えるための財政支援です。予算の中でうまくごまかして支援している印象が見受けられます。経営が悪化している外郭団体に関しては、ごまかしの支援ではなく、公の担う部分の役割分担をした中で、堂々と支援してほしいと考えます。平成20年統合の見通しと、今後の県の役割をお答えください。

石垣農水商工部長

現在、経営改善、品質向上、新たな販売拡張加工などの取り組みを行っていきます。合併の話は、平成20年をめどに両公社の再編統合の推進を今図っております。ただ、様々な意見があることから、なかなか進んでいかない状況です。名古屋が18年度、新たに移転後、新築されます。益々経営が厳しくなることが想定される中で、今後引き続き両公社関係者との検討協議を進め、合意形成に向けて議論を進めていきたいと考えております。